

山梨県のがん統計の概況

「令和3年度がん登録実務者研修会」

令和4年1月25日(火)

福祉保健部健康増進課 がん対策推進担当

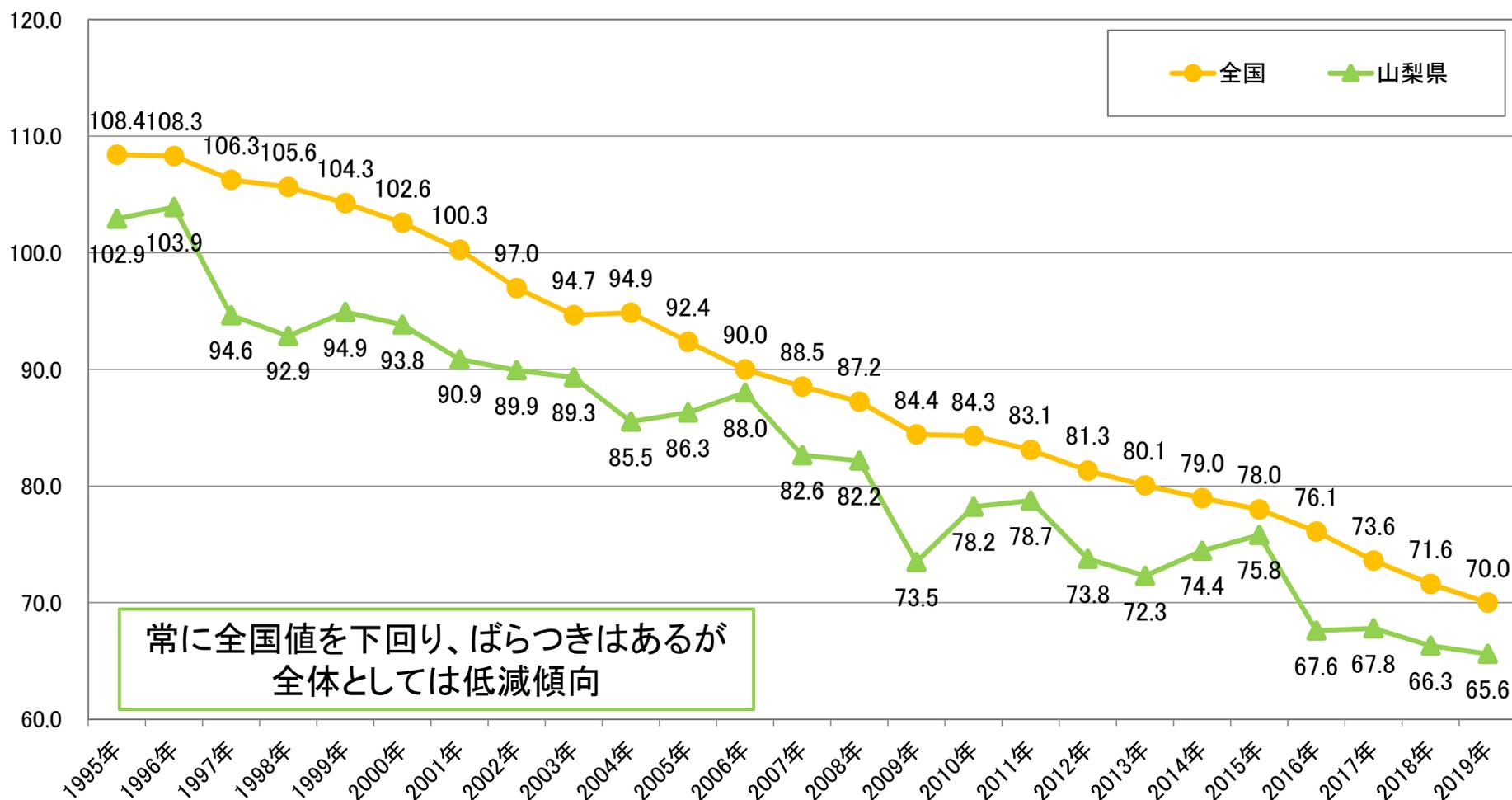


がんの死亡統計

(国・県のがん罹患)

75歳未満年齢調整死亡率の全国との比較(人口10万対)

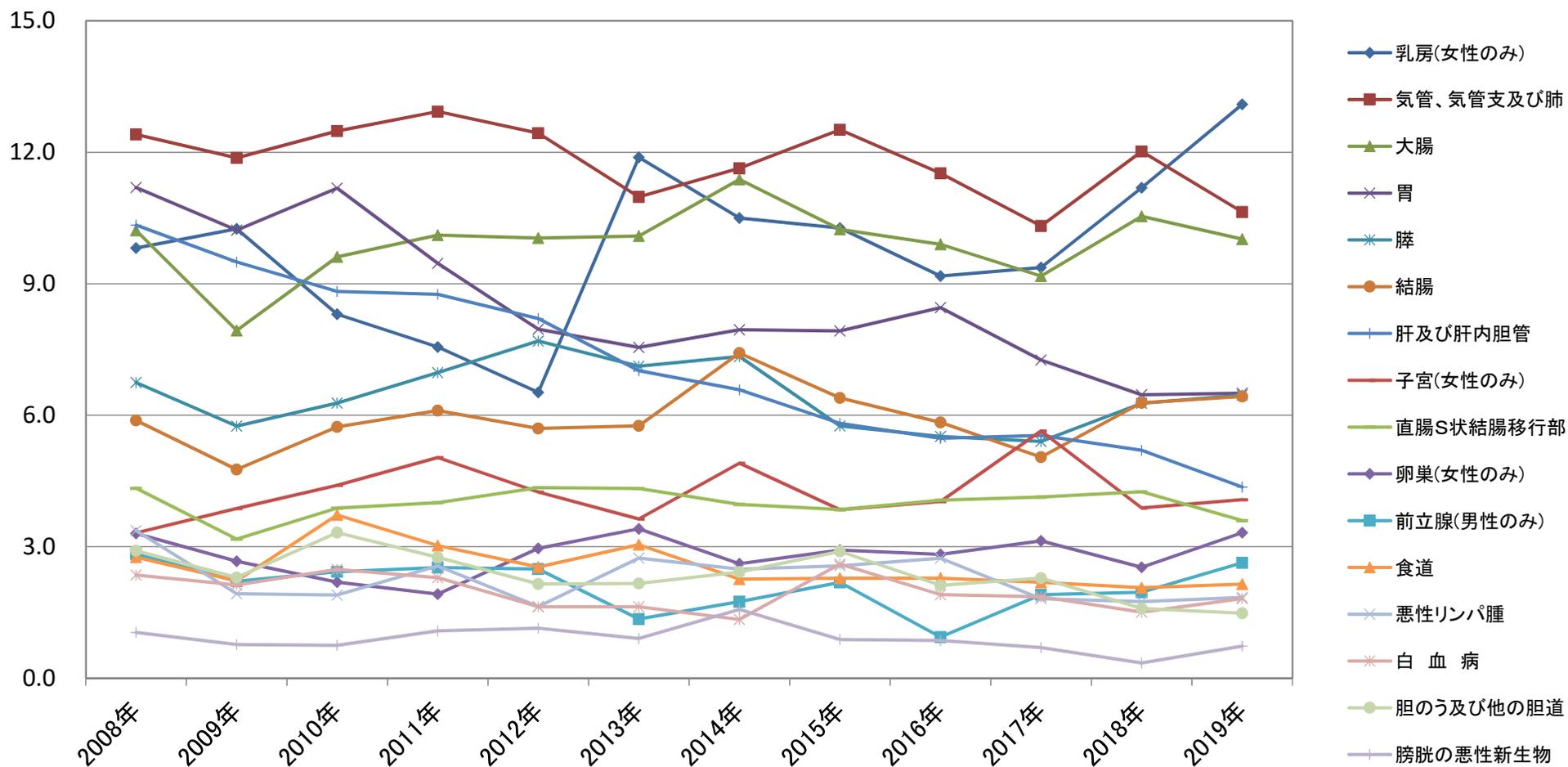
出典：国立がん研究センターがん情報サービス



常に全国値を下回り、ばらつきはあるが
全体としては低減傾向

高齢化の影響を取り除いたがんによる死亡割合を示す指標である「75歳未満年齢調整死亡率」は、がん対策全体の指標となっており、全国は毎年着実に低下している。山梨県は、これを常に下回っており、がんにより亡くなる可能性が低い県と言える。人口規模が小さいことから、値にばらつきがあるものの全体としては低減傾向である。

部位別75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）

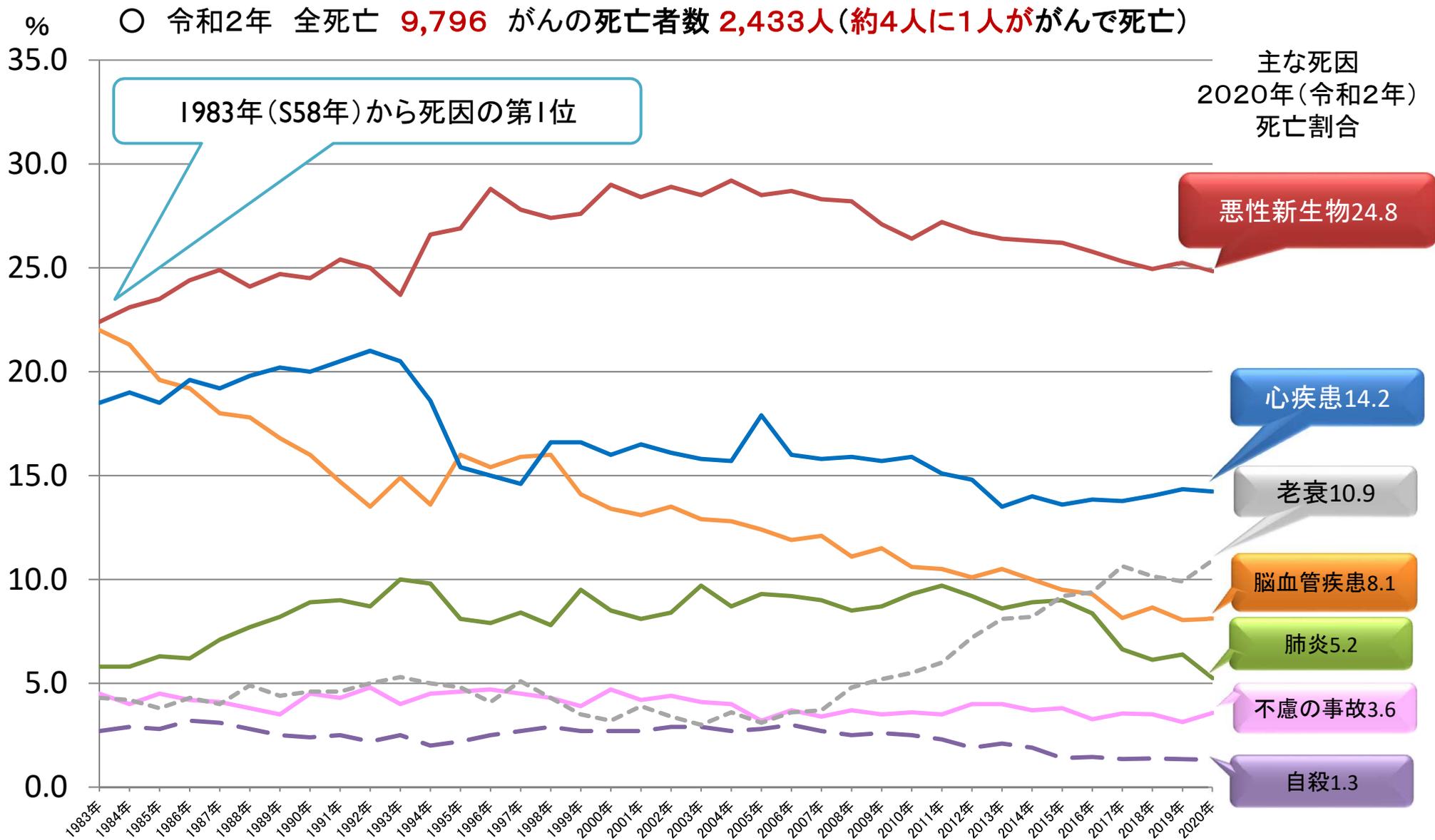


出典：人口動態統計・山梨県がん罹患統計

	1位	2位	3位	4位	5位
全体・男性	肺(↓)	大腸(→)	胃(↓)	膵(→)	肝(→)
女性	乳(↑)	大腸(→)	膵(↑)	肺(↓)	胃(↓)

* 順位は、2019年 ()内は、1995～2019年までの推移

本県の死亡割合の推移(主な死因別)



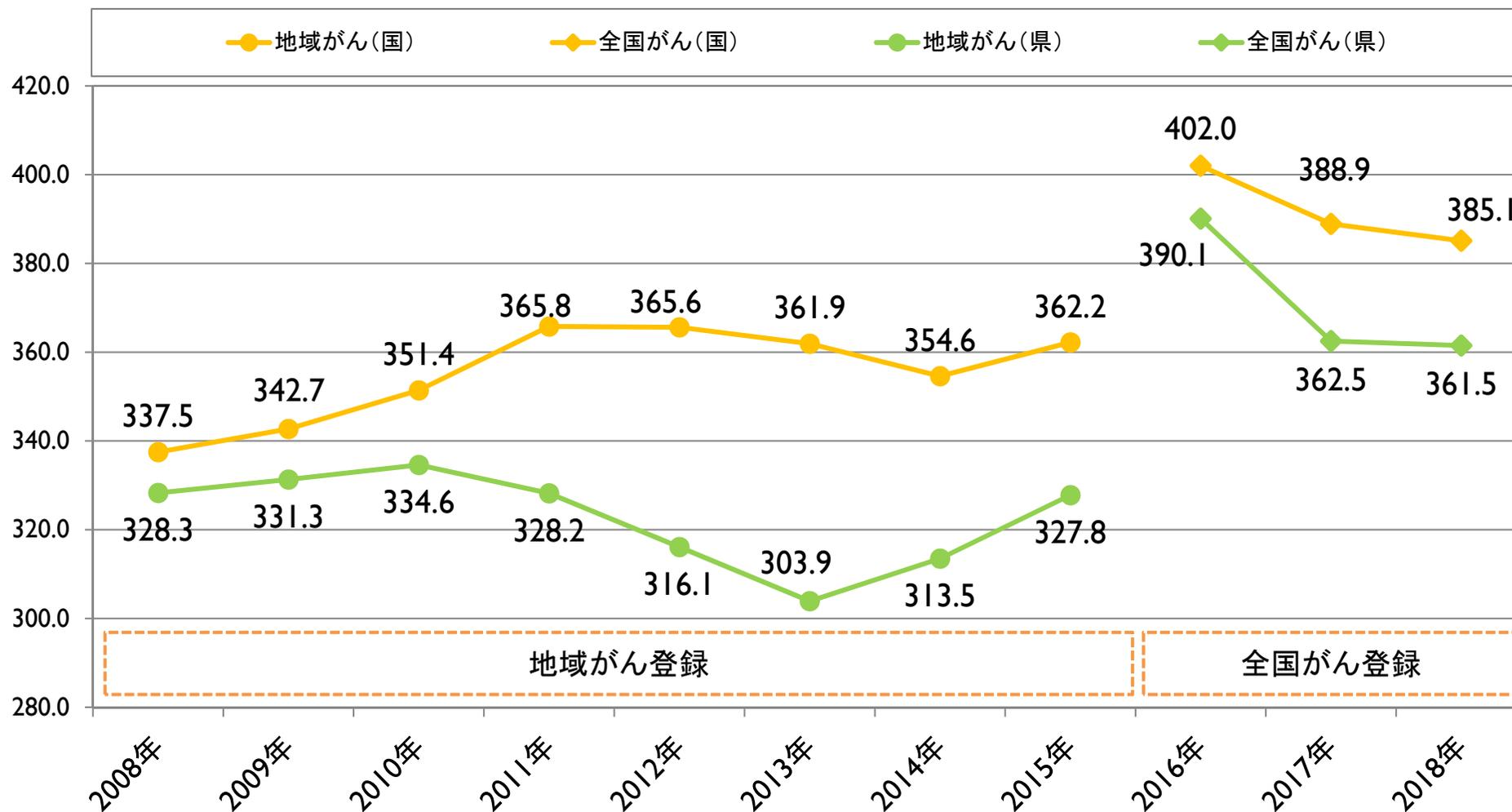
出典: 人口動態統計

がんの罹患統計

(国・県のがん罹患)

全部位年齢調整罹患率の全国との比較(上皮内がんを除く) (人口10万対)

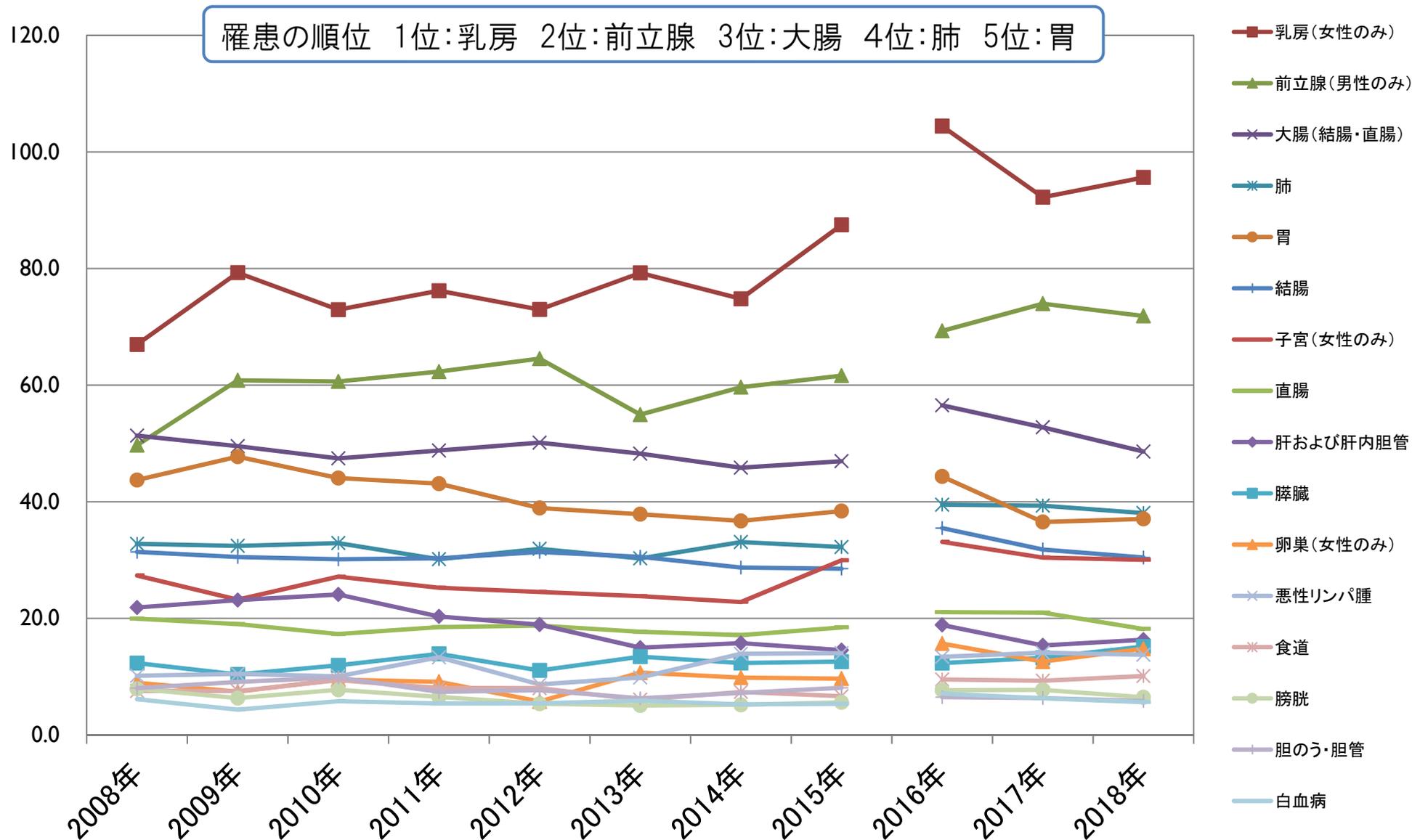
出典：国立がん研究センターがん情報サービス



高齢化の影響を取り除いたがんにかかる人の割合(年齢調整罹患率)は、がんの予防についての総合的な指標となる。山梨県においては、統計を取り始めた2008年以降、各年において全国を下回っている。

がんの部位別年齢調整罹患率(人口10万対)(上皮内がんを除く)

出典: 国立がん研究センターがん情報サービス



がんの部位別の年齢調整罹患率は、女性のみや男性のみを母数にしている乳がんや前立腺がんで高い。

2008～2018年がん罹患数(山梨県)

(上皮内がんを除く)

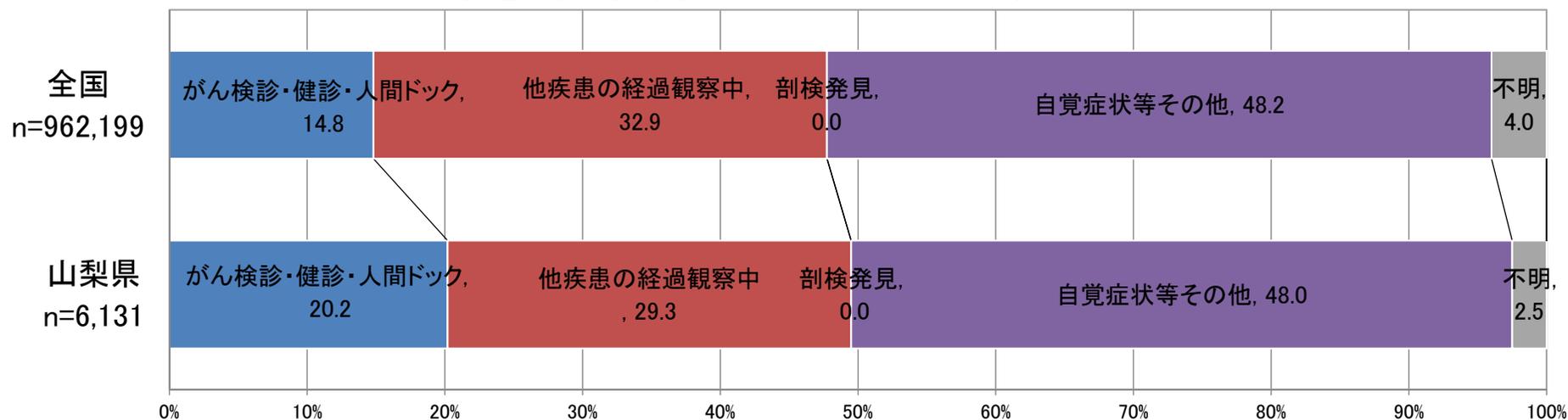
(件)	地域がん登録								全国がん登録		
	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
全体	5,280	5,402	5,507	5,435	5,380	5,116	5,281	5,528	6,593	6,258	6,270
男性	3,075	3,158	3,242	3,168	3,161	2,977	3,052	3,210	3,819	3,701	3,693
女性	2,205	2,244	2,265	2,267	2,219	2,138	2,229	2,318	2,773	2,557	2,577

出典：国立がん研究センターがん情報サービス
山梨県がん登録罹患集計

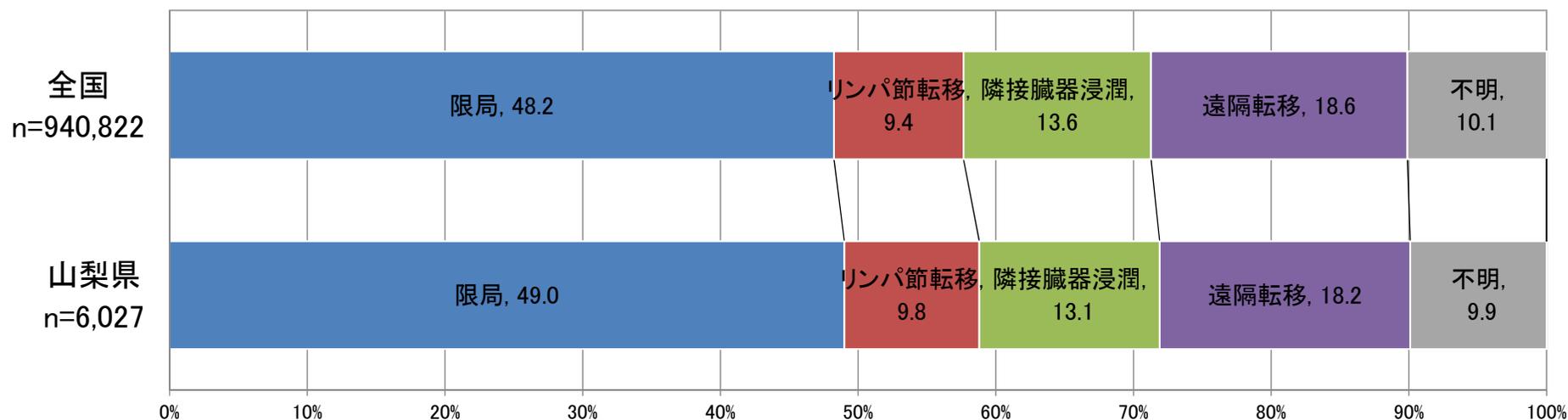
全国がん登録となり1.2倍(20%増)
(内訳：県外15% 県内5%の増加)

全部位罹患時の発見経緯と進行度(2018年)

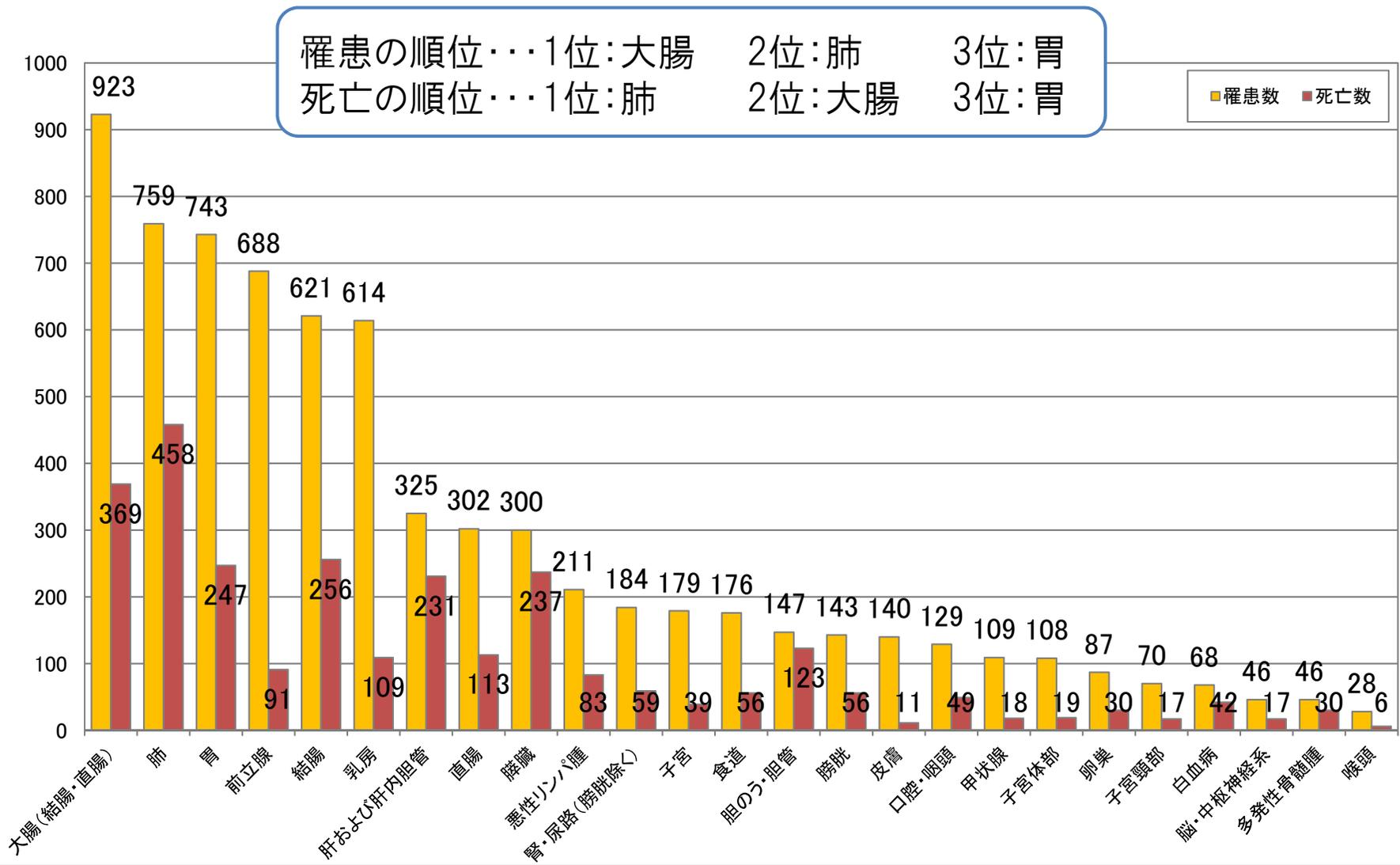
○ 山梨県におけるがん罹患時の発見経緯の全国との比較(%)



○ 山梨県におけるがん罹患時の進行度の全国との比較(%)



本県の罹患数と死亡数の比較(2018年)



罹患者の順位・・・1位:大腸 2位:肺 3位:胃
 死亡の順位・・・1位:肺 2位:大腸 3位:胃

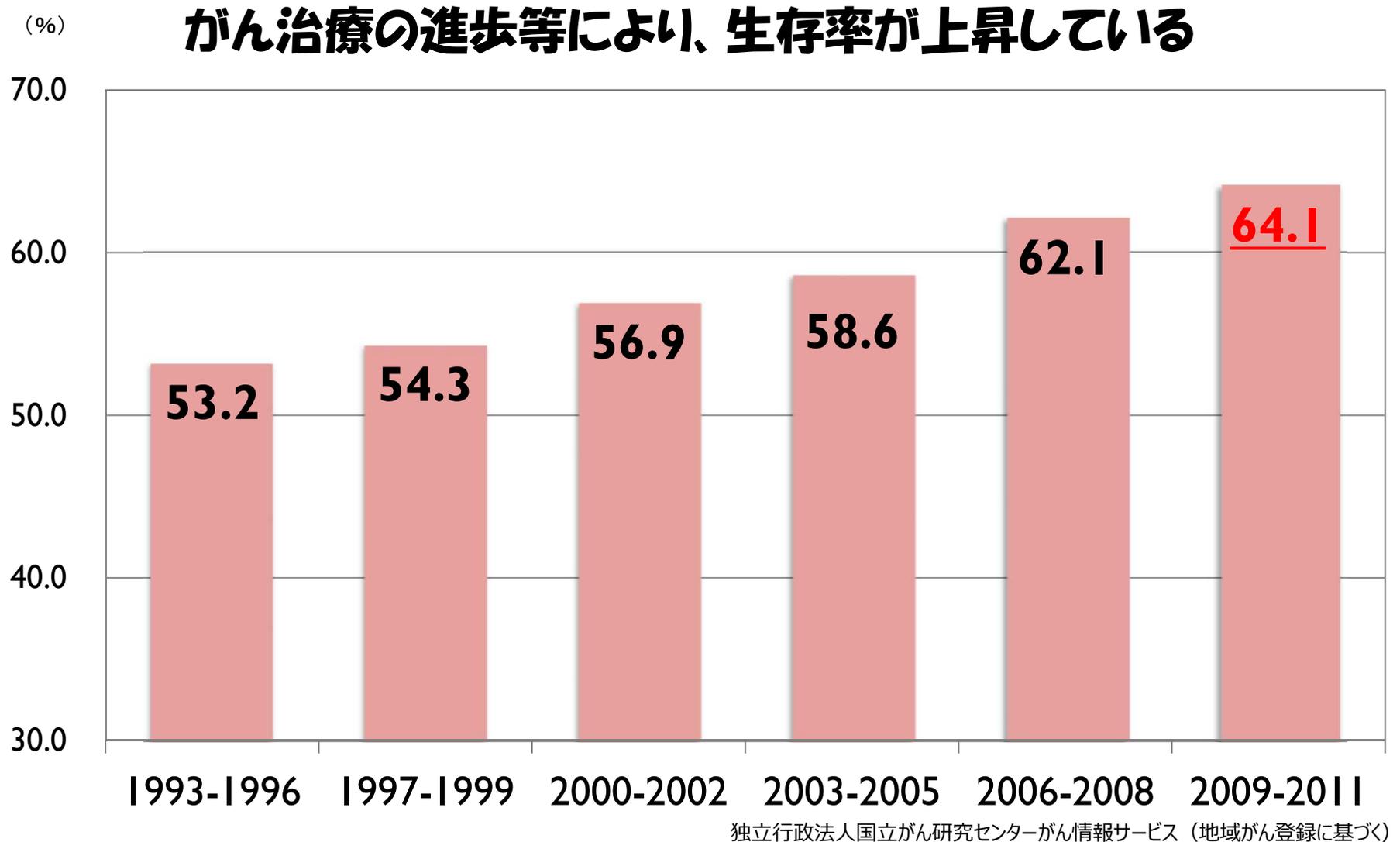
■ 罹患数 ■ 死亡数

がんにかかった人の数(罹患数)は、大腸がんが最も多く、肺がん、胃がんが続いている。がんにより亡くなった人の数(死亡数)については、肺がんが最も多く、大腸がん、胃がんの順になっている。乳がんや前立腺がんのように罹患数に比べて死亡数が少なく、死亡原因になりにくいがんがある一方で、肝がんやすい臓がん、胆のうがんなど、罹患数と死亡数の差が小さいがんもあるということもわかる。

5年相対生存率

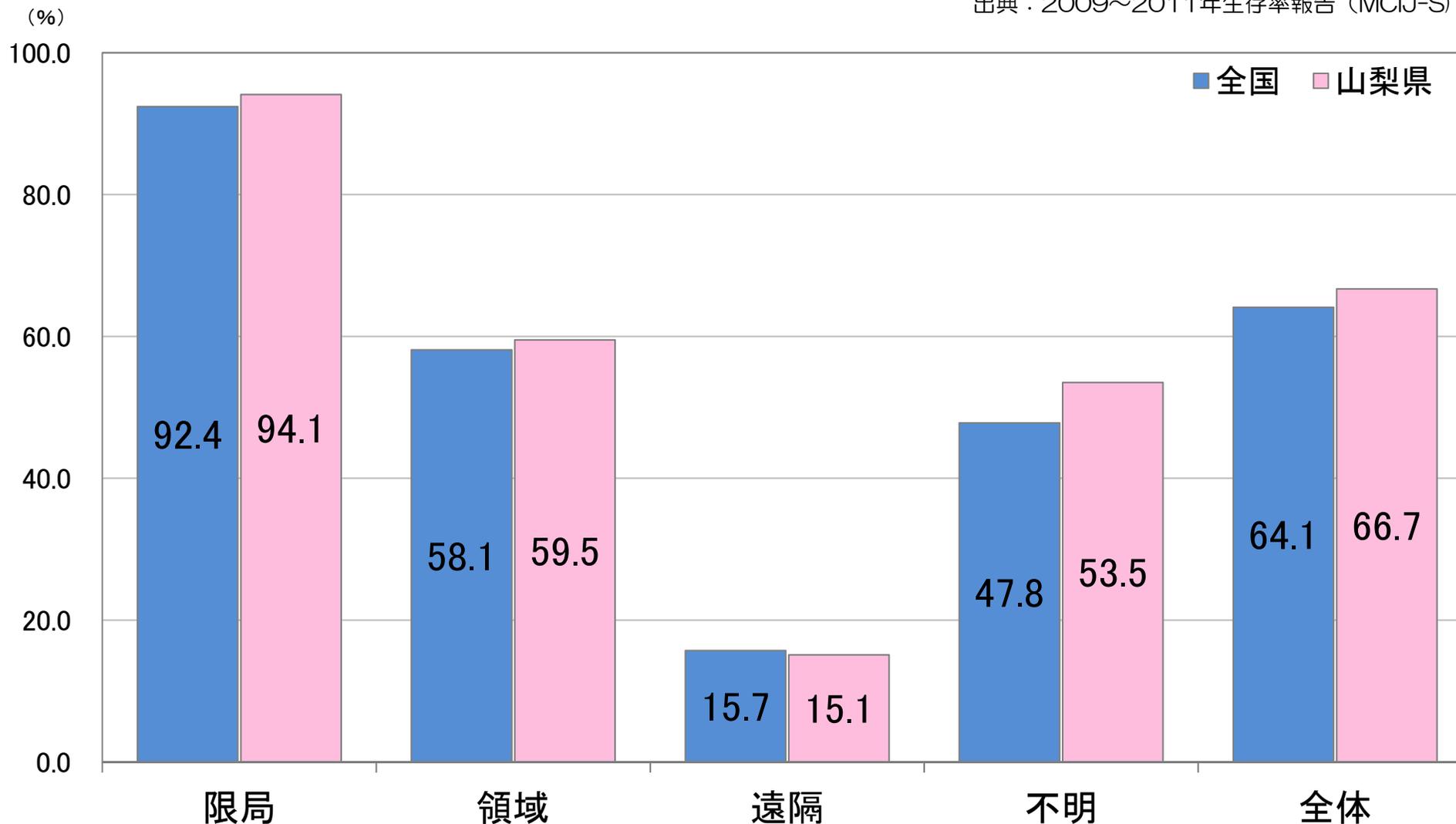
(国・県の生存率報告)

(国)5年相対生存率(全がん)



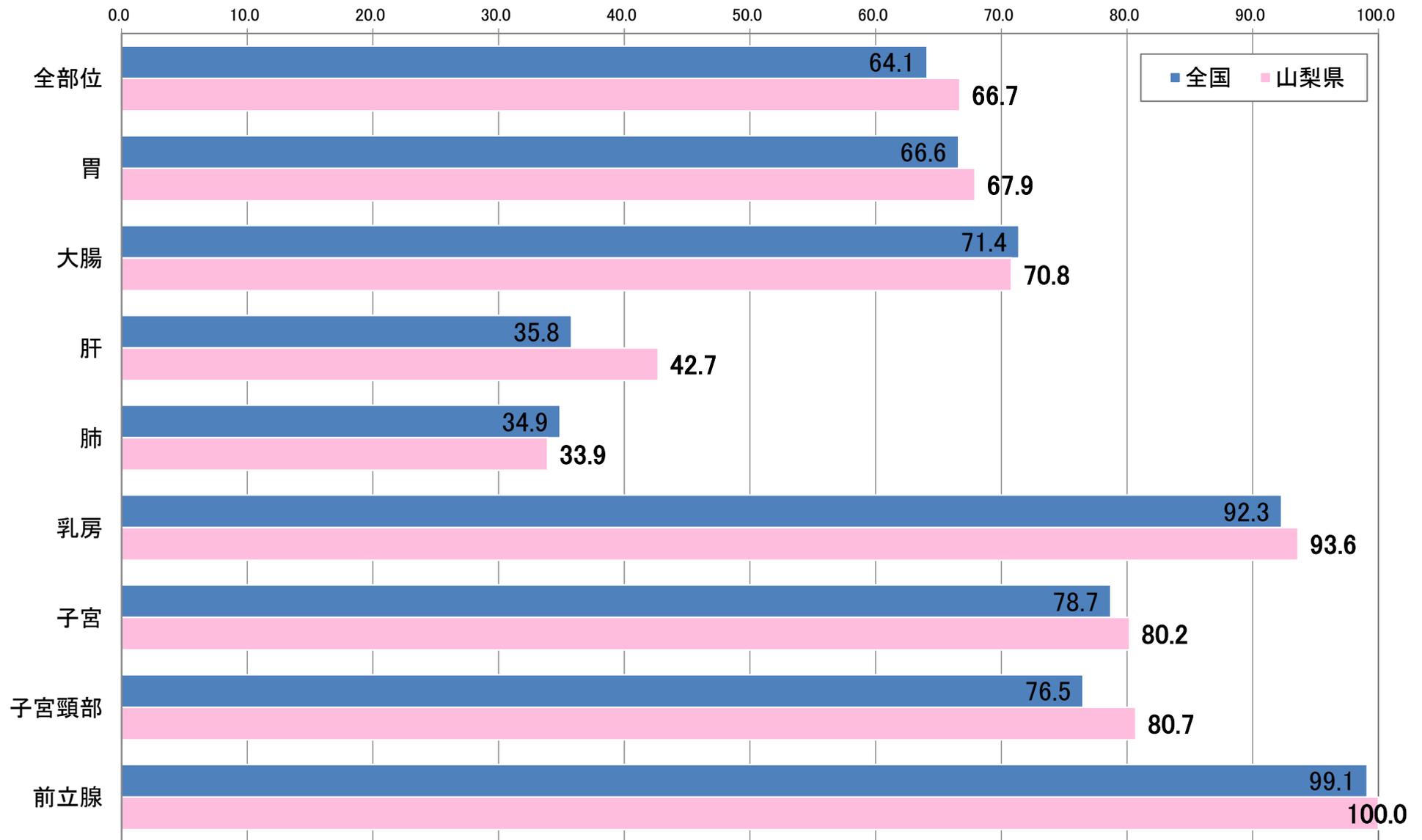
全がん進行度別5年相対生存率の全国との比較

出典：2009～2011年生存率報告（MCIJ-S）



領域：リンパ節転移 + 隣接臓器浸潤

部位別5年相対生存率の全国との比較 (%)



出典：2009～2011年生存率報告（MCIJ-S）

がん登録情報のデータ精度の全国との比較

出典：全国がん罹患モニタリング集計（MCIJ） 山梨県がん罹患集計

	DCN		DCO		IM比	
	全国	山梨県	全国	山梨県	全国	山梨県
MCIJ掲載基準	30%未満		25%未満		1.5以上	
2008年	20.2	21.8	13.6	11.9	2.13	2.14
2009年	20.1	19.6	13.4	9.5	2.20	2.32
2010年	18.0	19.4	12.0	10.2	2.23	2.24
MCIJ(基準A) * 推計値採用基準	20%未満		10%未満		2.0以上	
2011年	11.9	17.4	5.3	7.7	2.31	2.13
2012年	13.1	15.9	5.6	7.4	2.31	2.11
2013年	8.3	5.9	5.0	4.4	2.30	2.05
2014年	7.8	10.9	4.7	6.1	2.33	2.05
2015年	7.3	9.9	4.4	4.8	2.40	2.19
	DCI (20%未満)		DCO (10%未満)		MI比 (0.4以下)	
2016年	4.5	5.9	3.2	3.2	0.37	0.37
2017年	4.9	4.4	2.1	1.9	0.39	0.35
2018年	3.1	4.6	1.9	2.2	0.38	0.39

- ▽ MCIJ：全国がん罹患モニタリング集計（上皮内がんを除く）
 - ▽ DCN：death certificate notifications 死亡診断書で初めて把握されたもの
 - ▽ DCO：death certificate only 死亡票のみで登録されているもの
 - ▽ DCI：death certificate initiated 遡り調査で届出されたがん+DCO
 - ▽ IM比：罹患数と死亡数の比(罹患数/死亡数)
 - ▽ MI比：死亡数と罹患数の比(死亡数/罹患数)
- ※全国がん登録システムの集計仕様による値を表示

がん登録は、がんに関わったことを診断したときに医療機関が登録を行う仕組みである。死亡時に初めて把握される割合（DCN）や死亡時の情報しかない割合（DCO）が低い方が精度が高く、山梨県は2011年に診断された症例以降は高い精度を保っている。